

本社：那覇市泊3丁目5番地6
〒900-0012：電話(098)867-1290(代表)
FAX (098) 867-1295
年間購読料：¥33,000(税込)
振込口座(普通)：沖縄海邦銀行本店 100100
琉球銀行本店 025181
沖縄銀行高橋支店 930049

週刊 沖縄建設新聞

THE OKINAWA KENSETSU SHINBUN

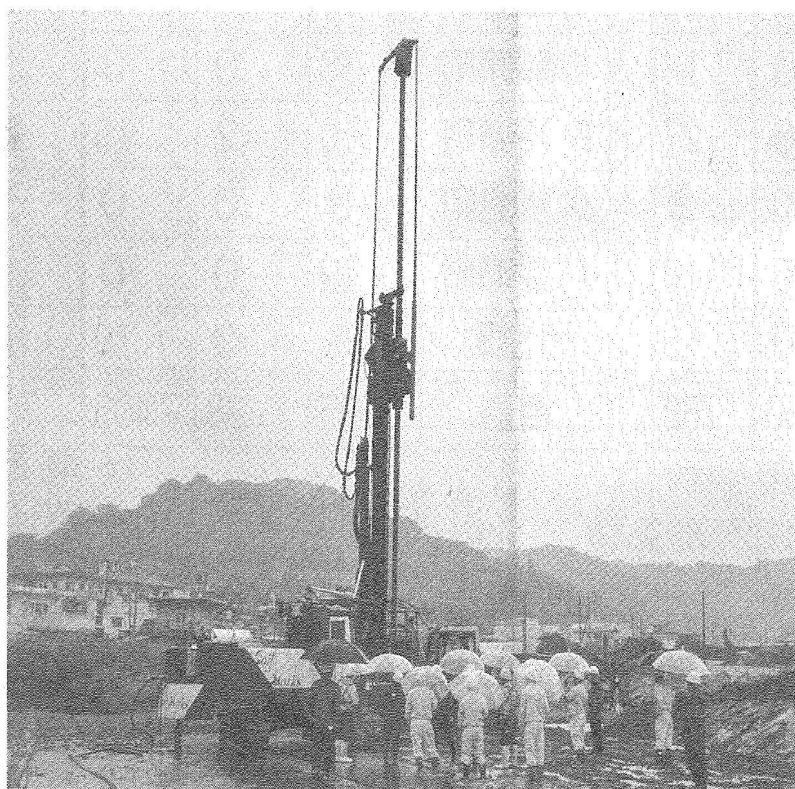
■毎週水曜日発行 ■昭和40年7月7日第三種郵便物認可 ■発行所：(株)沖縄建設新聞 ■http://www.okitel.com

安岡建設

ICT活用の現場見学会を開催 南部東道路地盤改良工事

安岡建設(株)(大村光昭代表取締役)は6月14日、南城市大里大城地内でICTを活用した地盤改良工事の現場見学会を開いた。工事は、県土木建築部が発注した「R4南部東道路改良工事(3工区1-2)」で、安岡建設の東

克洋専務が工事概要を説明。ソイルワークス(株)の並木敏郎社長と同社の担当者がICTによる地盤改良工の施工技術などについて解説し、現場では工事を担当する安岡建設の島袋桂輔現場代理人が施工状況などを説明した。



担当者から工事の説明を受ける参加者ら

見学会には、サイ・テク・カレッジ美浜校環境土木学科の学生9人や県の技術職員らが参加。3D設計データや重機の位置情報などを駆使した施工方法について学んだ。工事は、南部東道路本線整備に伴う盛土の

安定を確保するため、軟弱地盤を掘り下げて支持層となる島尻泥岩層まで杭を挿入する。杭工事では、ALiC工法を採用。固化剤を注入しながら掘削を行い、引き上げながら先端処理を行う「スラリー攪拌工」で1550本の基礎を構築。設計図面をシステムに取り込み、GPSなどの位置情報を基に各種データを入力、オペレーターが図面を見ながら重機を誘導し杭をセットする。見学会に参加したサイ・テク・カレッジ2年生の宮城慧君は「ICTを活用することで、たくさんの工程が正確にこなせることに驚いた」と感想を話した。